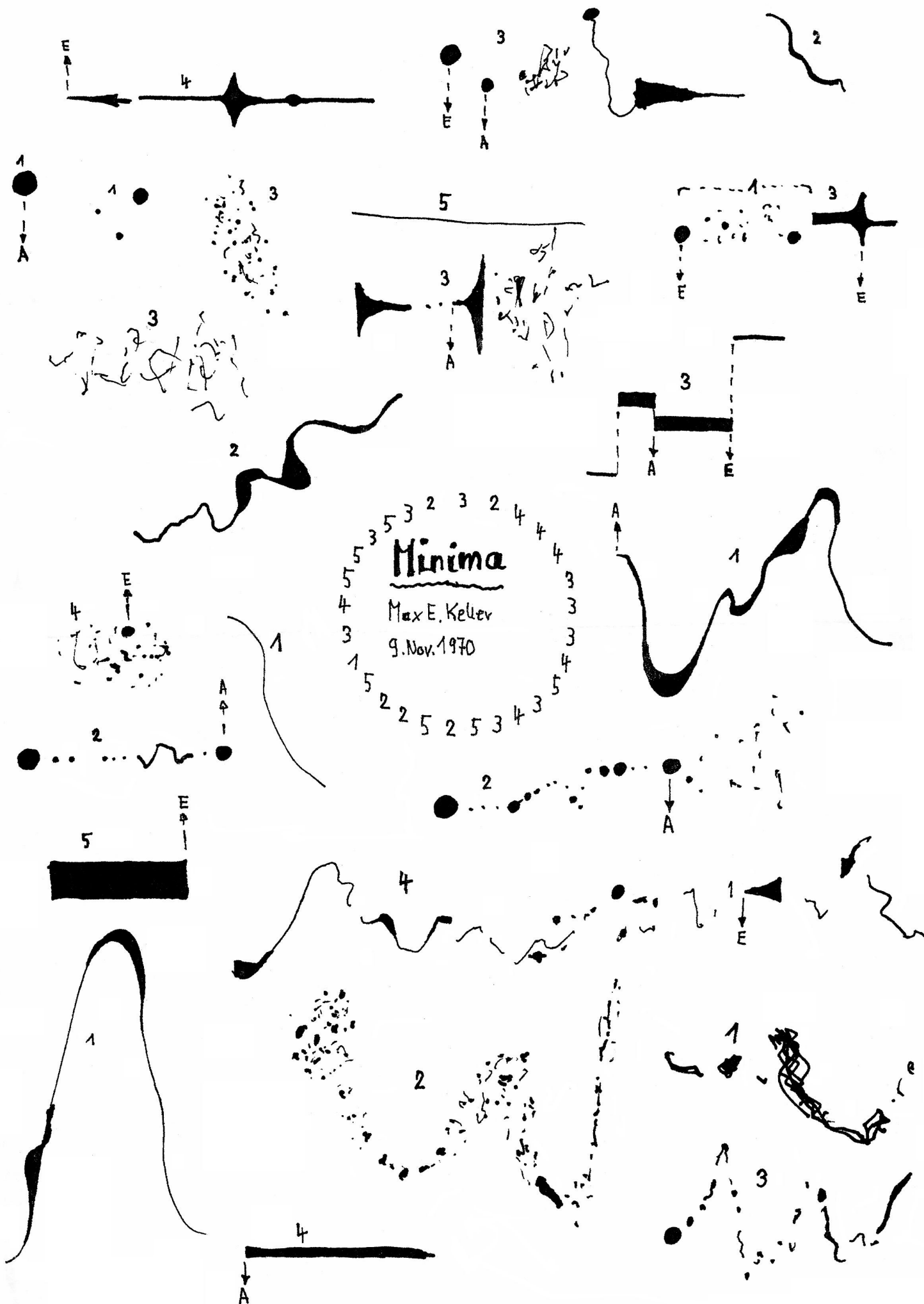




MINIMA

解説：（直訳ではなく、岡部春彦が、カール B.- ニルセン氏とディスカッションした一つの解釈です。）

ミニマは 3-7 名の器楽の即興のために書かれました。各演奏者は個別の要素(グラフィック)を自由に選び、順に演奏します。1つの要素には1つの数字がついていますので、それでひとかたまりを判別してください。一度演奏した要素をすぐに繰り返してはいけません。（1文削除）標準的には左→右に演奏しますが、逆もオッケーです。

要素の長さ要素のテンポは不可分な関係にあります。各要素に書いてある 1-5 の数は相対的な長さを表しています（分ではない）。1 は可能な限り短い～5 は可能な限り長いという意味です。それによって大体の長さを把握してください。（絶対的な基準ではありませんので、各演奏者の考えで長さを決めてください）そして各要素の音数を見てテンポを考えてください。数字が同じでも、音数が少なければテンポは遅くなり、音数が多ければテンポは速くなります。

各要素の後では必ずポーズ（無音の時間）を取ってください。ポーズの長さは楽譜の中央にある数字の円の 1-5 に対応しています。（要素の長さと同じです、1 は可能な限り短く、5 は可能な限り長い。使い方は後述）

しかしながら、どのように個別の要素やポーズの長さが決定されるかについて、「5 できるだけ長く」は全体の音との関係の中で演奏者の考えで決定してください。ポーズ 5 では、演奏者はほとんど曲が終わりかねないほど非常に長い時間待たなくてはなりませんが、最後まで沈黙している必要はありません。

ポーズは、シートの中央にある数の円で決めます。各演奏者は円のどの数字から始めるか自由を選んでください。そして順次要素の演奏が終わるごとに数字の長さに従いポーズをとります。時計回り、反時計回りは自由です。

曲全体の長さはあらかじめ決めておいて結構ですが、少なくとも 8 分は演奏すべきです。しかしながら、聴衆が文句を言い出したら止めるべきでしょう（作曲家のジョーク）。

この曲によって得られるサウンドは、たいへん「薄い」、「透明な」音楽になるでしょう。

シンボルの解説

曲を始めるタイミングを示します。

↓

A 誰かが始めたら、一緒に始める。

↓

E 誰かが終わったら、始める。

E

Max Eugen Keller（マックス ケラー）

1947 生、 スイスの作曲家、ジャズピアニスト、即興演奏家
スイスの free jazz の第 1 世代。

映画音楽の作曲なども手がけている。